

## 学校評価をふまえた今後の改善方策

兵庫県立視覚特別支援学校

### 1 ICTを活用した授業について

進学や就職の際に生徒の強みになることから、ICTを活用した授業を展開するための指導上の工夫が求められている。教職員対象のICT研修会を充実など、ICTを用いた教育を本校においてどのような形で推進すればより教育的効果が高まるのか、検討を進めていく必要がある。

### 2 体験を重視した授業について

ICTの活用と並び、生活を豊かにするための授業の充実を求める意見がみられた。体験的学習を積極的に取り入れた授業はこれまでも取り組んでいるので、学校新聞やホームページ等及び懇談の機会を活用して、本校の取り組みを広く知らせるよう留意する。

### 3 施設について

昨年度からエアコン・トイレ改善には多くの意見が寄せられている。そのため、可能な限り改修等に取り組んだ。幼児児童生徒の学習環境を整え、健康面を配慮して対策を講じている途上である。

また、教室にエアコンがない状態を早急に解決することにも、鋭意取り組みつつある。

### 4 交流及び共同学習について

幼児児童生徒は少人数で過ごしていることが多いため、居住地校交流は教育的効果が高い。しかしながら、今年度は新型コロナウイルスの感染拡大のため、やむをえず中止せざるを得なかった。一方、保護者から実施してほしいとの声もあるため、できるだけ交流の機会が確保できるよう次年度に向けて検討していきたい。

### 5 新型コロナウイルスの感染対策について

コロナ対策の取り組み状況について、学校新聞やホームページに細かく載せてほしいとの声があった。本校のブログ等で定期的に情報発信できるよう、速やかに取り組んでいく。